

退任のごあいさつ

美濃加茂市長 川合良樹

平成五年九月、渡辺博万市長の後を受け五人目の市長に就任し、以来三期十二年にわたり市政を担当させていただきましたが、九月十日をもって任期が満了いたします。

その間、「愛と信頼」を政治理念に「将来を見通した基幹となる事業と、今やらなければならぬきめの細かい施策をバランス良く進めたい」、また「美しい自然と温かい人情にはぐくまれた地方都市・交流のまちを目指す」と申し上げてまいりました。

また、この間は、二十一世紀初頭における第四次総合計画の策定をはじめ、市制四十周年、五十周年という大きな節目を迎えたときでもありました。

今、美濃加茂市は、市制施行五十年の歳月を経て、中部圏における一つの核となる都市としての基盤が一応整いつつあるのではないかと感じています。

地方分権、三位一体改革、市町村合併が歴史的な課題となっているとき、長期的展望に立ち二十一世紀にふさわしい美濃加茂市としてますます進展することに大いに期待を寄せるものであります。

今日まで、市議会をはじめ市民の皆さま方、そして関係各位から賜りましたご指導ご支援に対し心から厚くお礼を申し上げ退任のごあいさついたします。



皆さんからの意見

ちょっとこうじゃない。

このページは皆さんからのご意見などを紹介しています。

節電・節水

私の家でも節電・節水をしています。今の子どもたちは、小さいころから電化製品があるため「どうして消さなければいけないの(消灯)」と不思議そうです。当たり前の生活って怖いと思いました。

初めは大変だったけど最近は慣れてきて、子どもたちもずいぶん協力してくれるようになりました。(T)

地球温暖化について

地球温暖化を危機感として受け止めていながら、生活面においてなかなか改善することができません。光熱費の少ない家庭は家族が仲良しだそうです。

私が結婚(同居)した当時は、居間に集まるのが当然な時代でした。電化製品も今みたいに普及していませんでした。時代の流れとともに生活スタイルも変わってきました。

生活を共にしている家庭に何でも2つもいらぬ「もったいない」の精神を求めている親たちが、今では部屋に冷蔵庫、テレビ、電話を持っています。お互い生活面のストレスをためないで、電力消費を抑えることはなかなか難しいです。まずは、テレビを友達としないことから始めてみます。(M)



食育 頑張ります

うちの子どもたちはちよつと肥満傾向があるので、「食育」ということにとっても興味がありました。「簡単な」と思つ反面、「やっぱり大変かも」と思いました。でも親の責任でもありますよね。頑張ります。(K)